



平磯三社祭

Hiraiso Sanja Festival

3年に一度開催される平磯地区の伝統的な祭り。豪華に飾り付けた各町内のひき屋台が練り歩き、まちは祭り一色に。おはやしや威勢のいい引手の合いの手が祭りを盛り上げます。



みなと八朔まつり

Minato Hassaku Festival

300年以上続く那珂湊地区の祭り。ふんどし姿の担ぎ手が海中で御輿を洗い清める「お浜入り」は必見。



にぎわい、人とつながるまち

ひたちなか市の イベント

Event

一年を通して子どもから大人まで楽しめる、数多くのイベントがあります。



ひたちなか祭り

Hitachinaka Festival

ひたちなか市を代表する市民祭り。世代を問わず楽しめるイベントが多数開催されます。



阿字ヶ浦海岸花火大会

Ajigaura Seaside Fireworks Festival



那珂湊海上花火大会

Nakaminato Seaside Fireworks Festival



ひたちなか祭り花火大会

Hitachinaka Festival Fireworks



夏の夜空を彩る花火大会。ひたちなか市では特色のある3つの花火大会を楽しめます。

海水浴場 Beach

阿字ヶ浦海水浴場 Ajigaura Beach

約 1.2km の美しい海岸線を有する海水浴場。
波の音を BGM に、お散歩や読書、ビーチヨガなどを
楽しめます。フォトジェニックな壁画アートにも注目！



ひたちなか市の 観光

Sightseeing

豊かな自然、魅力的なアクティビティで忘れられない体験を。

爽やかな潮風吹き抜ける



平磯海水浴場

Hiraiso Beach

堤防に囲まれ波が穏やかなので、
家族連れも安心。
滑り台の「くじらの大ちゃん」は、
子どもたちに大人気です。



那珂湊おさかな市場

Nakaminato Fish Market

那珂湊漁港に隣接する那珂湊おさかな市場は観光客に大人気! 新鮮な魚介類がリーズナブル。県内外から年間約100万人の観光客が訪れます。市民の台所としても活躍。新鮮な地魚や干物などをその場で味わえて、お持ち帰りもできます。



夏

コキア

Kochia (Bassia scoparia)

夏になると姿を現すコキアは、まんまとした可愛らしいシルエットが人気。紅葉のシーズンには丘一面を赤く染め、秋の絶景を見せてくれます。



秋

国営ひたち海浜公園

Hitachi Seaside Park

四季折々の花景色が楽しめる園内には、カフェや遊園地のほか、レンタルサイクルなども充実。のんびりピクニックやサイクリング、愛犬とお散歩など、広大な自然の中でリフレッシュできます。

ネモフィラ

Nemophila (Baby blue eyes)

丘一面を埋め尽くすネモフィラは、空の青、海の青とのハーモニーが美しく、世界の絶景として人気を集めています。



プレジャーガーデン

Pleasure Garden

大きな観覧車が目印の遊園地。パークゴルフやジェットコースターなど、家族で楽しめるアクティビティがたくさん。





一度は食べてほしい

ひたちなかの

おいしいもの

Delicious Food



生産量日本一!!
大人気
定番ほしいも

ほしいも

Dried sweet potato

ひたちなか市は、ほしいも生産量日本一を誇るまち。地元で採れたサツマイモを蒸して、じっくりと天日乾燥させたほしいもは、無添加で子どものおやつにも安心です。品種ごとに異なる味わいや食感を楽しめることも魅力。



心と体をハッピーに!

ちちんぷりんぷりん

Ibaraki Hitachinaka Pudding

ひとつで三度美味しい魔法のようなスイーツ。最初はひたちなか産のおれんじ玉子プリンをそのまま、次に玉子プリンとさつまいもペーストと一緒に、最後はピターな徳川將軍珈琲ベースのソースをかけてお召し上がりください。



干しいもパイ・ほっしい〜も

Dried sweet potato pie

干しいも生産日本一!
ひたちなかの美味しい干しいもをパイにしちゃいました。

ひたちなか産
バインベリー
使用!



イチゴダッパ

Strawberry Dacquoise



市内阿字ヶ浦特産のバインベリーをブレンドしたジャムをはさんだダックワーズ(アーモンド風味のメレンゲを使った焼き菓子)。

幸福の黄色いスタミナ



スタミナラーメン

Stamina ramen

レバー、カボチャ、ニラ、キャベツなどを使った、具だくさんの甘い餡が特徴のスタミナラーメンは、昭和50年代に生まれたご当地ラーメンです。2016年に開発された、カレーとのコラボメニュー「幸福の黄色いスタミナ」も注目を集めています。

汗はだして
はたして
食べる。



おすすめ!!
ご当地グルメ



那珂湊焼きそば

Nakaminato Yakisoba

もちりとした食感が魅力の「手延べせいろ蒸し麺」を使用した那珂湊焼きそばは、60年以上に渡り地元で愛され続けてきた、ひたちなか市民のソウルフードです。味つけや具材は店によってさまざまなので、豊かなバラエティを楽しめます。

海と大地の恵みが詰まったひたちなかの「食」は、おいしくて、体が喜ぶ栄養がたっぷり。昔から地元で愛されてきたご当地グルメも、観光で訪れる方をはじめ、多くの人をとりこにしています。

海の幸・大地の幸・ご当地グルメ
 美味しいものがいっぱい



あんこう鍋
 Monkfish hot pot

「西のふく、東のあんこう」と称される高級魚のあんこうを丸ごと味わえるあんこう鍋。栄養豊富で心も体も温まる冬の味覚として親しまれています。11～3月にかけて、市内の旅館・民宿や飲食店等にていただくことができます。



干物
 Dried fish

市内では、旬の魚介類を使ったさまざまな水産加工品が作られています。潮に吹かれて魚の旨みがぎゅっと凝縮された干物は、お土産としても大人気。作り手の技とこだわりが光る自慢の逸品です。



たこ
 Octopus

ひたちなか市は、たこ加工生産量日本一を誇るまち。たこしゃぶや刺身、蒸したこなど、たこ本来の味を堪能できる料理を楽しめるほか、たこを使用したオリジナル商品が盛んに開発されています。



海鮮丼
 Seafood rice bowl

那珂湊おさかな市場などで鮮度抜群の海産物を味わえるひたちなか市。海の幸をたっぷり使った海鮮丼は、老若男女に大人気です。お店ごとの看板メニューを食べ比べて、お気に入り一杯を見つける楽しさも。

市お土産品開発・磨き上げプロジェクト 「SHIO_KAZE」

SHIO_KAZE プロジェクトとは

「市民自らが自慢できる、市の魅力が伝わる」お土産品を目指して、市内8事業者の皆さまと、腕の立つ茨城県内のデザイナーがタッグを組み、商品の開発・磨き上げに取り組みました。



新ひたちなかみやげ誕生



SHIO
 KAZE

ひたちなか 海浜鉄道湊線

Hitachinaka
Seaside Railway
Minato Line



ひたちなか海浜鉄道
代表取締役社長
吉田 千秋さん

勝田駅から
阿字ヶ浦駅まで、
計11駅を
のんびり走る
市民に愛される
ローカル線。



通勤通学時間の勝田駅

JR常磐線、ひたちなか海浜鉄道、路線バス、スマイルあおぞらバスなどが接続するターミナル駅。



ひたちなか海浜鉄道と夕焼け

勝田駅と阿字ヶ浦駅を結ぶ14.3kmのローカル線。日々の暮らしや観光客を支える足として活躍し、人々から愛されています。

かわいいデザインが人気の駅名標

湊線の各駅に設置されている駅名標は、それぞれの地域を象徴するデザインとなっています。各地域の魅力が一目で伝わるユニークなデザインが話題となり、2015年度グッドデザイン賞を受賞しました。



湊線の未来に向けて

湊線延伸が事業許可を取得

現在の最終駅である阿字ヶ浦駅から国営ひたち海浜公園西口付近への湊線延伸は、令和3年1月15日に国土交通省から事業許可を取得しました。

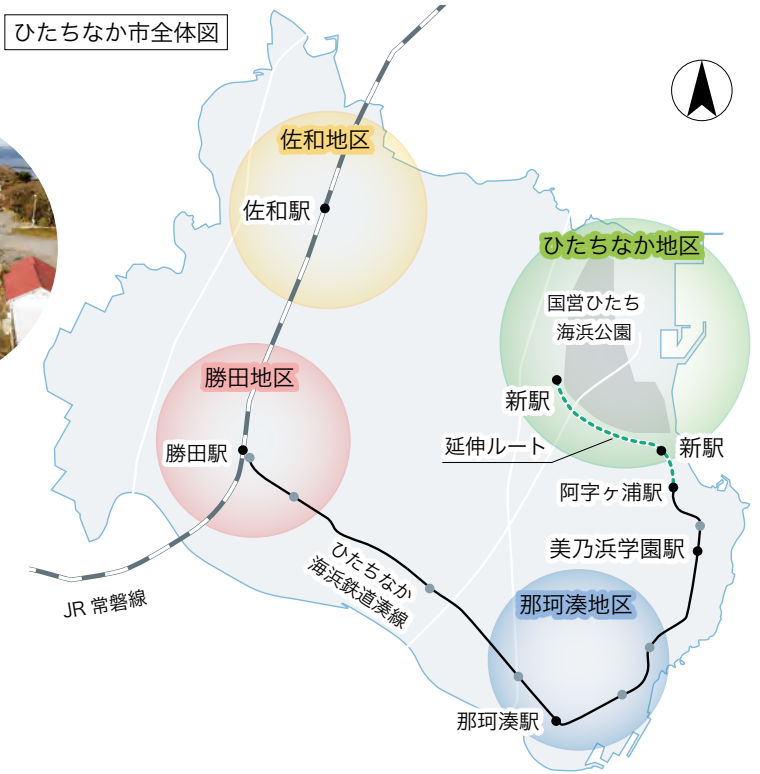


延伸の目的

- 高齢化の進展に伴う公共交通の維持・確保
- 公共交通ネットワークの充実による交流人口の拡大と地域の活性化
- 人口減少に伴う利用者減を見据え、国営ひたち海浜公園来園者などの新規需要の取り込みによる鉄道経営の安定化
- 年間200万人以上を集客する国営ひたち海浜公園へのアクセスの多様化
- 公共交通利用への転換による交通渋滞の緩和と環境負荷の軽減

事業許可の概要

- 申請区間 阿字ヶ浦駅～国営ひたち海浜公園西口付近
※営業キロ：約3.1km
- 駅数 2駅
・阿字ヶ浦土地区画整理事業区域内
・ひたちなか地区（海浜公園西口付近）
- 事業費 約78億円



おらが湊鉄道応援団団長
佐藤 彦三郎さん

市内企業を定年退職後、市民の立場で地域に貢献しようと自治会長、市自治会連合会副会長などを歴任。おらが湊鉄道応援団のほか、コミュニティ活動を中心に複数の団体に活躍中。

駅的环境整備

自治会を中心に毎月行われる除草などの環境整備。終了後のお茶会も楽しみだそうです。



那珂湊駅
サービスステーション

休日には団員が観光案内。商店街連携のサービスや「まちなか漫遊マップ」が好評です

地域・市民による
ボランティア活動
自分ができることを
発揮しながら取り組んでいく。
地域のチカラになりたい。

おらが湊鉄道応援団

ひたちなか海浜鉄道湊線の存続・発展を願い、さらには湊線を核とした会員と地域住民の交流を通じた地域の活性化を目指し、活動している市民団体です。皆で湊線を盛り上げましょう！



おらが湊鉄道応援団
船越 知弘さん

13年間ほぼ毎日撮影し、1年間の撮影枚数は約10万枚。美しい湊線写真は、応援団フェイスブックで毎日更新！

伝統や文化が息づくまち

歴史の散歩路



乳飲み児を抱く埴輪県

埋蔵文化財調査センターにて、日本で唯一の“乳飲み児を抱いた埴輪”として展示されています。島田蓄（まげ）と呼ばれる髪型や耳飾り、首飾りなど、当時の女性像を伝える貴重な埴輪です。



埋蔵文化財調査センター

市内で出土した考古資料を保管・展示する調査研究施設。虎塚古墳石室壁画のレプリカや、日本でここしかない貴重な出土資料も展示しています。

文化と芸術の薫り高いまち
ひたちなかのルーツを辿る。
貴重な歴史遺産に
想いを馳せる。



四郎介稲荷神社市

「四郎介さん」と親しまれている神社。拝殿の四方に見事な彫刻が施されています。拝殿の海老虹梁部には躍動感あふれる「昇り龍」と「降り龍」、周りには、4匹の狐の伝説にちなんでであろうと思われる「狐」の彫刻が施されています。



酒列磯前神社の樹叢県

社殿に向かう参道は300mに渡り、ヤブツバキとタブノキの木々のトンネルが続きます。





虎塚古墳 国

古墳時代末期の7世紀前半に造られた全長56.5mの前方後円墳。昭和48年に石室内で彩色壁画が発見され、春と秋に一般公開をしています。



那珂湊反射炉跡 県

水戸藩藩主徳川斉昭により、安政4年(1857年)に建設された水戸藩営大砲鑄造所。元治甲子の乱(1864年)に破壊されてしまいましたが、昭和12年、現在の復元模型が作られました。



水門帰帆 市

水戸藩第9代藩主徳川斉昭公が天保4年(1833年)に選んだ水戸八景のひとつです。ここからは雄大な太平洋や那珂湊漁港を眺めることができます。



資賓閣跡 市

水戸藩2代藩主徳川光圀公が元禄11年(1698年)に建設した水戸藩の別邸跡です。光圀公や斉昭公など歴代の藩主も訪れ、宴席や詩歌の会が催されました。



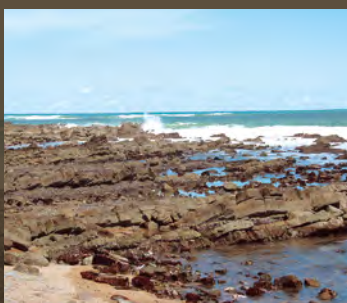
馬渡埴輪製作遺跡 国

5世紀末から6世紀末にかけて操業されていた埴輪製作遺跡で、現在は公園として整備され、市民に親しまれています。毎年6月中旬には花しょうぶが見頃を迎え、たくさんの人が訪れます。



武田氏館

武田地区は甲斐武田氏の発祥の地。主殿造の母屋、廐、納屋を整備し、母屋には甲斐武田氏発祥関係資料等を展示しています。



平磯白亜紀層 県

砂岩とシルト岩が互層を呈する約7,500万年前の中生代白亜紀の地層。春から夏にかけては、磯遊び場として家族連れに人気です。



旧土肥家住宅 県

江戸時代前期と中期に建てられた東日本で最も古い民家の一つです。もとは茨城県南部の稲敷市にあったもので、平成22年に国営ひたち海浜公園に移築復元されました。



十五郎穴横穴墓群 県

岩壁を掘り込んで築かれた古墳時代末期から平安時代の集団墓。数箇所に分かれて分布しており、横穴からは太刀や勾玉などが出土しました。東日本最大級の横穴墓群と考えられています。

ひたちなか市は史跡が豊富。
歴史のピースを探しに行こう！



総面積

100.23km²

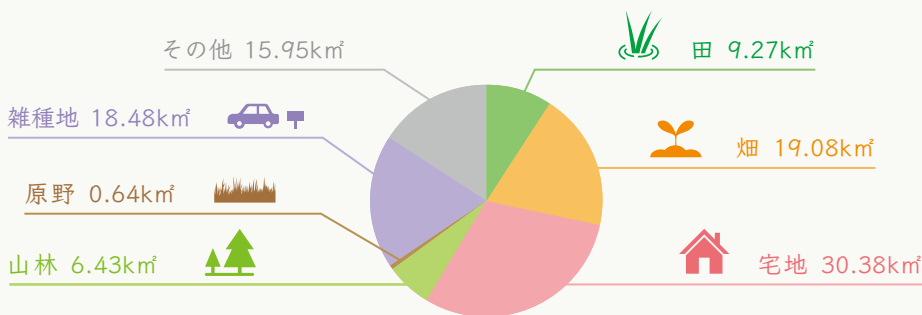
Total area

R4.1.1現在(資産税課)

Database

データベースのひたちなか
ひたちなか市のポテンシャル。
データからわかるまちの強み

データベース of ひたちなか



●地目別土地面積

総人口

155,475人

Total population

R4.1.1現在
(ひたちなか市住民記録人口)

茨城県内
第4位

男 78,552人 女 76,923人

平均年齢
46.6歳

●3区分年齢人口割合

年少人口(0~14歳)	12.6%
生産年齢人口(15~64歳)	60.8%
老年人口(65歳以上)	26.7%

●世帯数

67,197 世帯



都市公園数

Number of city parks

R3.4.1現在(公園緑地課)

314箇所



茨城県内
第1位

出生数

Birthrate

R3.1~R3.12(出生届出数)

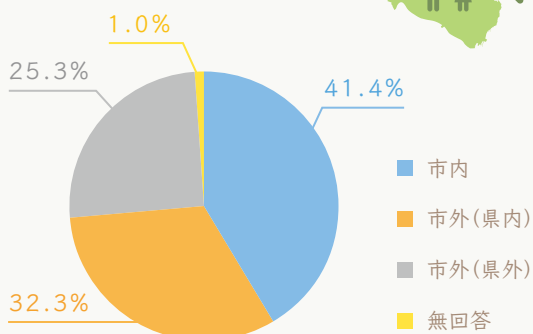
1,072人(年間)



ひたちなか市民の出身地

Hometown of Hitachinaka citizens

出典：まちづくりに関する市民意識調査 (R1)



約6割が他市町村からの転入者です。外から来る人に「WELCOME感」のあるまちです。

観光入込客数

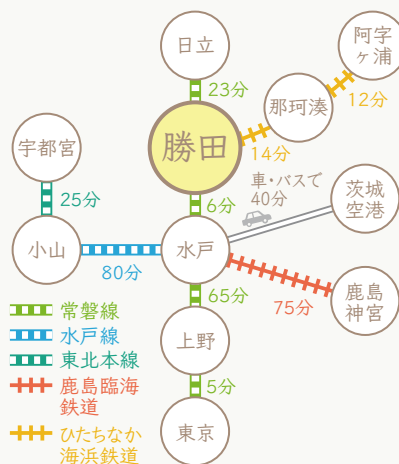
Number of tourists

R2.1.1~R2.12.31
(令和2年観光客動態調査報告)

1,983,900人

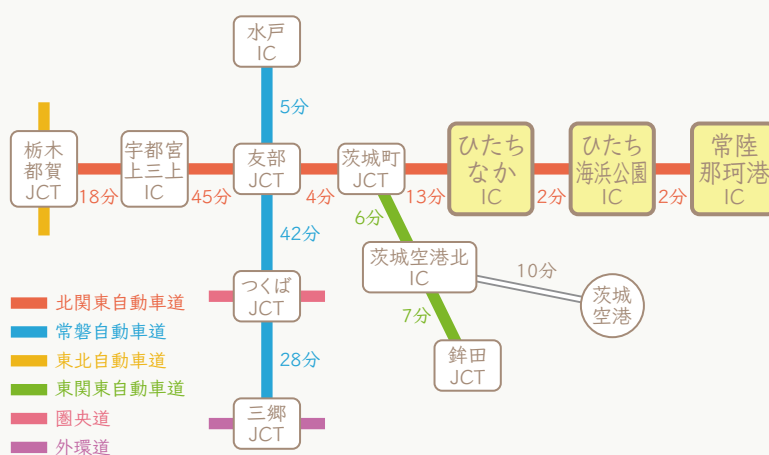
電車アクセス

Train access



車アクセス

Car access



1日平均乗車人員



Average number of passengers per day

JR東日本各駅の乗車人員2020年度

勝田駅 9,904人/日

財政力指数

0.948

Fiscal power index

令和3年度(市町村別普通交付税決定額財政力指数一覧)

地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3カ月間の平均値をいい、地方公共団体の財政力を示す指数として用いられます。

製造品出荷額等

Shipment value of manufactured products, etc.

R2.6.1現在
茨城の工業(2020年工業統計調査結果報告書)

1兆492億340万円



市章

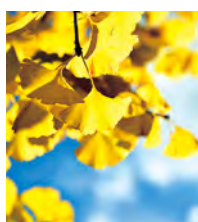
2つの波が交流する所にH(ひたちなか市の頭文字)の文字が浮かび上がるデザインです。Hの文字は埠頭をイメージしており、基盤のしっかりとした産業の象徴です。渦巻く2つの形は波や風といった豊かな自然を表しており、右上へと伸びる勢いのある形は「ひたちなか市」の発展、上昇を象徴するものです。また、左右の12本のウェーブの数は、年月・時間の単位として宇宙秩序・自然体系の完成体を表しています。しなやかな形とハードな形が一体となったこの形は、人と自然と産業といったハードとソフト、動きと静寂とが一つの調和のなかにある状態を表す姿でもあります。

市の花 はまぎく



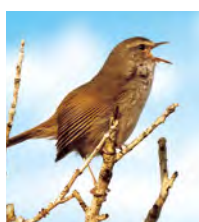
たくましく気品のある美しさは、緑豊かであり発展する本市を象徴します。

市の木 いちちょう



生命力にあふれる姿は本市の活力ある発展を象徴します。

市の鳥 うぐいす



明るい印象は、未来に発展する本市のイメージにふさわしいといえます。

姉妹都市

宮城県石巻市



栃木県那須塩原市



Hitachinaka History

明治 22(1889)年	市制、町村制施行(2町5村誕生)	平成 23(2011)年 3月	東日本大震災発生
昭和 14(1939)年	那珂湊町(湊町)に改称		北関東自動車道全線開通
昭和 15(1940)年	勝田町誕生(中野村、勝田村、川田村が合併)	平成 24(2012)年 4月	勝田駅東口再開発事業完了
昭和 29(1954)年	那珂湊市誕生(那珂湊町、平磯町、前渡村前浜が合併)	平成 25(2013)年12月	湊線開業100周年
	勝田市誕生(勝田町、佐野村、前渡村の一部が合併)	平成 26(2014)年11月	ひたちなか市誕生20周年
昭和 32(1957)年	勝田市三反田の一部那珂湊市へ	平成 28(2016)年 4月	「魚食の普及推進に関する条例」施行
昭和 48(1973)年	水戸対地射撃場の返還	平成 29(2017)年 9月	日本最大のクルーズ船「飛鳥II」初寄港
平成 6(1994)年11月	ひたちなか市誕生(勝田市、那珂湊市が合併)	10月	子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」オープン
平成 7(1995)年11月	市章・市の花(はまぎく)	平成 30(2018)年 4月	六ツ野スポーツの杜公園オープン
	市の木(いちちょう)	4月	那珂湊支所新庁舎開所
	市の鳥(うぐいす)制定	7月	親水性中央公園オープン
11月	那須塩原市(黒磯市)と姉妹都市協定	平成 31(2019)年 4月	外国クルーズ船「セブンシズマリナー」初寄港
平成 8(1996)年 1月	石巻市と姉妹都市協定	令和元(2019)年 9月～	天皇陛下御即位記念第74回国民体育大会
平成 9(1997)年11月	人口15万人達成	10月	総合開会式、総合閉会式、陸上競技、水泳(競泳)、サッカー、バレーボール開催
平成 11(1999)年 5月	常陸那珂港(現 茨城港常陸那珂港区)に定期航路就航		
平成 12(2000)年 8月	「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」初開催	令和 3(2021)年 4月	美乃浜学園開校
平成 14(2002)年 7月	勝田駅橋上駅舎化	令和 4(2022)年 2月	防災拠点倉庫竣工
平成 20(2008)年 4月	第3セクター「ひたちなか海浜鉄道株式会社」開業		新上坪浄水場竣工
平成 22(2010)年 4月	「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」施行		



選ばれるまち

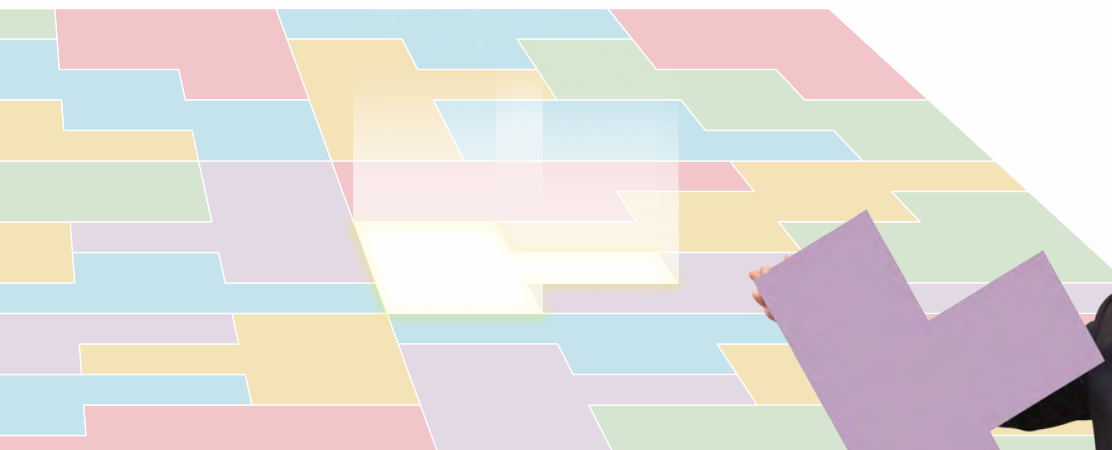
ひたちなか市は、海に面し自然環境に恵まれ、多様な産業が発展し、良好な居住環境が広がるなど、たくさんの魅力にあふれているまちです。

古くからの人々の営みが残り、伝統ある歴史や文化の息づくまちであるとともに、企業城下町として多くの企業が立地し繁栄してきました。このような本市ならではの魅力と価値を活かし、ひたちなか市は成長してまいりました。

また、高い市民力を活かし、「ひたちなか市自立と協働のまちづくり基本条例」を制定し、市民と行政とが力を合わせて「自立と協働のまちづくり」をすすめているところと

これからのひたちなか市は「子育て世代に選ばれるまち」、「F1層（20歳〜34歳女性）が住みやすいまち」、「U・Jターン先として選ばれるまち」、「シックプライドを高めるまち」を目指し、新たな価値を創造することにより、多くの人に「住み続けたい」、「働き続けたい」、「行ってみたい」、「応援したい」と思っていただけけるような「選ばれるまち」づくりを推進してまいります。

この要覧により、ひたちなか市の魅力が皆様に伝わり、より身近にひたちなか市を感じていただければ幸いです。



ひたちなか市紹介動画 Video introducing Hitachinaka City



日本語版



English

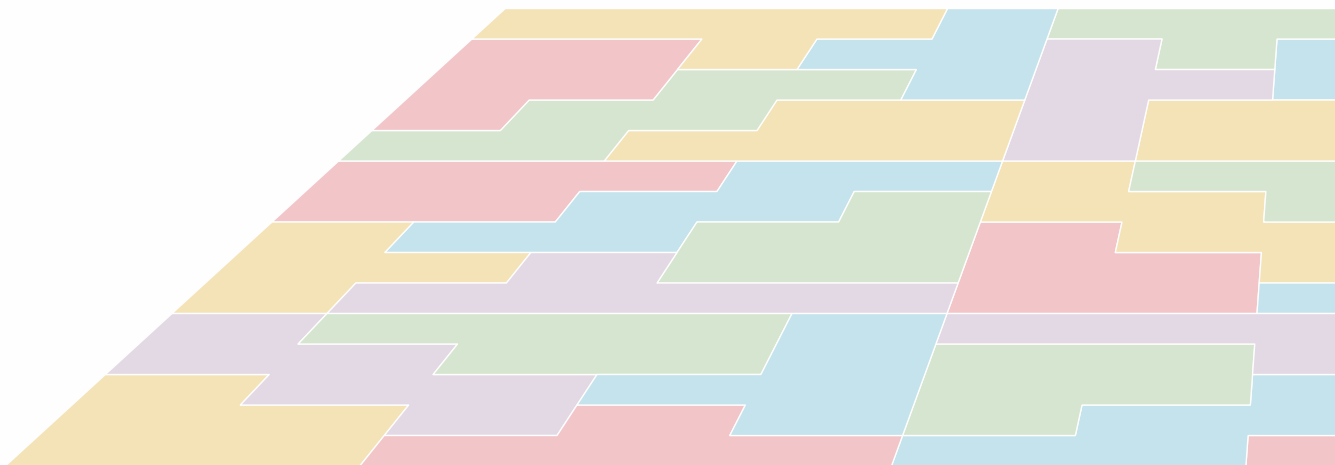
ひたちなか市の素敵な風景、物、食、そして人。ひたちなか海浜鉄道や国営ひたち海浜公園をはじめとするまちの魅力をお届けします。

Take a look at the wonderful landscapes, things, foods, and people in Hitachinaka. These videos show the city's attractions, such as Hitachinaka Seaside Railway and Hitachi Seaside Park.

大谷 明

ひたちなか市長

人と自然と産業が、
一つの調和のなかにある美しいまち。
人々の笑い声が、音楽が、
風に乗って丘をこえてゆく。
用事がなくても、
何となく足が向く。
そんなステキなまち。
“ひたちなか”
これからも、ずっとこのまちが好き。



ひたちなか市市勢要覧

令和4年（2022年）3月発行

発行：茨城県ひたちなか市企画部広報広聴課
〒312-8501 茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号
TEL：029-273-0111（代表）
URL：<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/>
制作：大富印刷株式会社



ひたちなか市 LINE 公式アカウント

市からのお知らせやイベント情報など、皆さまの生活に「役立つ情報」をお届けします。



←友だち登録は
こちら